職工側ノ觀察

吾人ハ軍縮ニ依ル失業不安ヲ感ジ安ンジテ職ニ従事スルヲ得ザルタメ解雇
手当其他ノ要求ヲ提出シタルモノニシテ会社ハ之ニ対シ一ヶ年間ハ解雇セザル旨ヲ
回答シ解雇ノ事ハ解雇ガアッテ始メテ起ル問題ナレバ解雇セザル声明
ヲナシタル以上解雇手当ノ問題ハ生ゼザル
ベシト云ヘルモ昨年十月ノ争議ノ際ニ当局ハ解雇セズト声明シタ
ルニモ不拘十月ニ至リ突如二百数十名ヲ解雇シタル例モアレバ其ノ言明ハ
信ヲ置ク事能ハズ依テ解雇手当ノ具体的回答ヲ要求シタルモノニシテ
会社ハ二月二十二日ノ代表者トノ会見ニ於テ職工側ヲ最低標準条件ヲ
提出シタルニ対シ会社ハ大体ニ於テ之ヲ諾トシタレバ組合幹部会ニ諮ルヲ以テ
斯ル内容ハ絶対ニ他ニ発表セザル旨ヲ約シタルニ会社ハ当日直チニ役付職工ヲ集メテ
右回答ヲ報告シ而シテ翌廿四日新聞紙ニ会社ノ独断的ニ之ヲ発表シ而モ全関同業者
並ヘルヰテ関東同業者ト変更シタルガ如キ其事詳実ナル此ヲ假ハ遂ニ吾人
ヲシテ怠業ヲナサシメ罷業ヲ起サシムルノ動機ヲ造リ而シテ吾人ガ主張スル
全国並ト云フハ川崎三菱ノ如キ大会社ヲ含ムニ非ズシテ同程度ノ会社並ト云
フニアレバ決シテ無理ナル要求ナドハ思ハレズ然ルニ会社ハ何故ニ関東ヲ飽迄固
守セントスルカ其意ヲ解スルニ苦シム次第ニシテ二月二十三日ノ両者ノ会見ニ於テ
大体解決ヲ見ルニ至レルニ会社ハ突如食言的態度ニ出テ続イテ休業職首
等ノ横暴極マル挑戦的態度ニ出デタルヲ以テ止ムナク争議ヲ継続スルニ至レ
ルモノニシテ其罪職工側ニ非ズシテ已ニ会社側ニアリト称シ居レリ

横浜造船組合幹部ハ昨年ノ争議解決ニ不拘極力機会ヲ待チツツアル矢先偶々職工
中ノ多クガ軍縮ニ依ル不安ニ襲ハレ居ルヲ以テ好機逸スベカラズトナシ会社ノ御用組
合ノ称アル横浜造機部技工組合聯合会幹部ニ交渉ヲ開始シ両組合員合同
シテ遂ニ横浜船渠職工同盟会ヲ組織シ要求条項ヲ提出シタルモノニシテ

財團法人 協調會